



スワップボディを活用した共同輸送事業

事業者（◎：代表者）

- 株式会社ホームロジスティクス◎
- ユニ・チャームプロダクツ株式会社
- トランコム株式会社

事業概要

スワップボディ車両を活用したホームロジスティクスとユニ・チャームの異業種間共同輸送について、両社の物流パートナーであるトランコムと全国10拠点間で実施した。当日往復化による輸送効率向上や空回送削減、荷役分離による環境負荷軽減とドライバー労務環境改善を実現した。

本取組のポイント

- 出荷時間の調整やリードタイム変更、トランコム手配の代替荷物により物量波動を安定させることで、定期便での運行を実現。
- スワップボディコンテナ車両導入に伴う作業フローの変化に対し、物流パートナーの協力を得ることで、他事業でも適用しやすい事業スキームを実現。
- 荷役時間の制約が解消され、時間の有効活用を実現。
- 荷役負担を軽減することで、女性・高齢者ドライバーが活躍可能な環境を実現。
- 運行台数を2,490台／年(50%)削減。
- ドライバーの荷降時間を約12,450時間／年削減。

◎ CO₂排出削減量 880.4トン/年

◎ CO₂排出削減率 38.6%



コンテナとシャーシの
分離の様子



コンテナの留置の様子



積み込みの様子

全体像

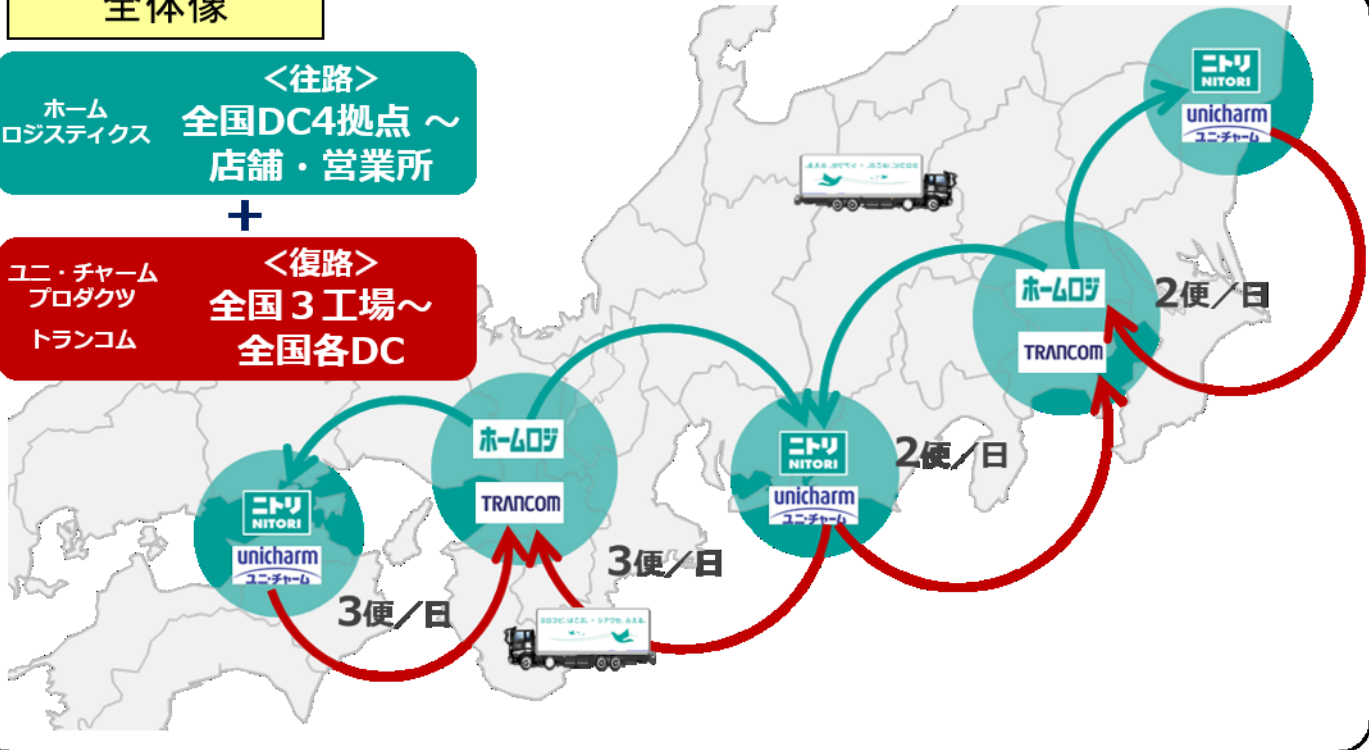
ホーム
ロジスティクス

<往路>
全国DC4拠点 ~
店舗・営業所

+

ユニ・チャーム
プロダクツ
トランコム

<復路>
全国3工場 ~
全国各DC



運行のイメージ

N日

N+1日

Before



積込み

運行&休息

荷卸し

2~3時間の
バラ積み作業

荷役分離

前日
荷卸し

積込み

After

運行&休息



連結~往路

切り離し~連結

復路~切り離し





RORO船を用いた本州内紙製品バラ積輸送(愛知～埼玉間)

事業者 (◎：代表者)

- 栗林商船株式会社◎
- 東海協和株式会社
- 王子物流株式会社
- 栗林運輸株式会社

事業概要

愛知県と埼玉県との間での紙製品（巻取紙）輸送について、従来小ロットのトラック輸送を行っていたところ、バラ積での大ロット輸送に切り替えることで、RORO船による海上モーダルシフトを可能とし、陸送距離削減と環境負荷低減に加え運送コスト削減を実現。

本取組のポイント

- 従来まで陸送で輸送していた本州内の工場間輸送において、バラ荷役を実施することで、中距離モーダルシフト構築と大量一括輸送を実現。
- 陸送距離やトラック輸送時間の大幅削減による環境負荷低減と労働環境改善。
- 出荷ロットの変更等が必要になることから、荷主側においても物流部門だけでなく倉庫管理、生産管理、営業部門といった企業全体での協力体制を構築。
- トラックドライバーの運転時間を4,815時間/年(74%)削減。

◎ CO₂排出削減量 73.5トン/年

◎ CO₂排出削減率 33.0%



RORO船内でのバラ荷役の様子



輸送中のバラ荷役された紙製品

実施前

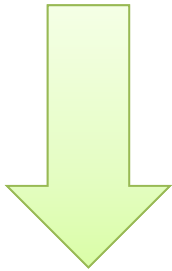


王子製紙(株)
春日井工場

約400km(トラック輸送)

埼玉県内
加工場

小ロットでのトラック輸送を実施



- 中長距離輸送のトラックドライバー不足の深刻化が予想され、王子製紙(株)春日井工場の製品輸送力の維持強化や陸送以外の輸送経路選択の多様化が課題に。
- 春日井工場での生産品の一部である埼玉県内の加工場向の巻取紙製品輸送について、栗林商船所有のRORO船を用いたバラ積輸送を行うことにより海運モーダルシフトを実施。

実施後



王子製紙(株)
春日井工場

埼玉県内
加工場

約30km
(トラック輸送)

大ロットでの船舶輸送を実施

約65km
(トラック輸送)

名古屋港

約350km(RORO船バラ積輸送)

東京港

